

「討論会『漢字制限の問題点』

の反響」の反響

金田一春彦

熊谷直孝さんには痛いところを突かれました。お言葉のとおり、「漢字制限の問題点」は討論会の体をなしていませんでした。主催者としては、ああいうような問題について、討論会のようなものを開いてみたまでのことです。「討論会」と銘打ったのはいけなかったかもしれません。

釘本さんには、最初講師として出ていただく予定だったところ、NHKから講師は三人でなければという申し入れがあったので、ああいう形になってしまいました。釘本さんも講師と司会のふた役では発言されにくかったことと恐縮しています。けれども、釘本さんが討論会のルールの破壊者ではありませんでした。

主催者がわの者として反省していますのは、討論会の終ったすぐあとで、あるひとから、「ああいうルールを無視した討論会ではぼくたちはしゃべる気がしないよ」と言われたことです。これは失敗だったと思います。おそらく問題や意見をもちながら方々で発言の機会をもたれなかった方々が多かったことと謹しんでおわびいたします。

——名古屋大学助教授——